

## 理学療法学専攻

## A 欧 文

## A-a

1. Iwanaga N, Kamachi M, Aratake K, Izumi Y, Ida H, Tanaka F, Tamai M, Arima K, Nakamura H, Origuchi T, Kawakami A, Eguchi K: Regulation of alternative splicing of caspase-2 through an intracellular signaling pathway in response to proapoptotic stimuli. *J Lab Clin Med* 145(2): 105-110, 2005 \*◎◎
2. Tanaka F, Kawakami A, Tamai M, Nakamura H, Iwanaga N, Izumi Y, Arima K, Aratake K, Huang M, Kamachi M, Ida H, Origuchi T, Eguchi K: IFN- $\gamma$ /JAK/STAT pathway-induced inhibition of DR4 and DR5 expression on endothelial cells is cancelled by cycloheximide-sensitive mechanism: Noble finding of cycloheximide to regulate death receptor expression. *Int J Mol Med* 15(5): 833-839, 2005 \*○
3. Aratake K, Kamachi M, Iwanaga N, Kawasaki E, Izumi Y, Ida H, Tanaka F, Tamai M, Arima K, Nakamura H, Origuchi T, Kawakami A, Eguchi K: A cross-talk between RNA splicing and signaling pathway alters Fas gene expression at post-transcriptional level: Alternative splicing of Fas mRNA in the leukemic U937 cells. *J Lab Clin Med* 146(3): 184-191, 2005 \*○◎
4. Huang M, Ida H, Iwanaga N, Izumi Y, Tanaka F, Aratake K, Arima K, Tamai M, Hida A, Nakamura H, Origuchi T, Kawakami A, Ogawa N, Sugai S, Utz SPJ, Eguchi K: Detection of apoptosis-specific autoantibodies directed against granzyme B-induced cleavage fragments of the SS-B(La) autoantigen in sera from patients with primary Sjogren's syndrome. *Clin Exp Immunol* 142(1): 148-154, 2005 \*○
5. Nakamura H, Kawakami A, Ida H, Origuchi T, Matsuoka N, Furuyama M, Mizokami A, Tsukada T, Nakashima M, Ejima E, Hamasaki K, Aoyagi K, Uetani M, Fukuda T, Honda S, Urayama S, Kawabe Y, Ueki Y, Mine M, Eguchi K: Clinical significance of anti-citrullinated peptide antibody in Japanese patients with established rheumatoid arthritis. *Scand J Rheumatol* 34(6): 489-490, 2005 \*◎
6. Arima K, Origuchi T, Tamai M, Iwanaga N, Izumi Y, Huang M, Tanaka F, Kamachi M, Aratake K, Nakamura H, Ida H, Uetani M, Kawakami A, Eguchi K: RS3PE syndrome presenting as vascular endothelial growth factor associated disorder. *Ann Rheum Dis* 64(11): 1653-1655, 2005 \*
7. Yoshimura T, Nakano J, Okita M, Kikuchi Y, Kitamura T, Ishikawa T: Complete blood cell counts and blood chemistry in Yusho. *J Dermatol Sci (Suppl 1)*: S45-S55, 2005 \*
8. Nakano J, Yoshimura T, Okita M, Motomura M, Kamei S, Matsuo H, Eguchi K: Laminin-induced autoimmune myositis in rats. *J Neuropathol Exp Neurol* 64(9): 790-796, 2005 \*★○
9. Hirayama F, Colin B, Andy HL, Senjyu H: Urinary incontinence in Japanese women with chronic obstructive pulmonary diseases. *J Phys Ther Sic* 17(2): 119-124, 2005 \*
10. Hamade S, Shimada T: Analysis of effect of segmental spinal cord evoked potentials elicited by transcutaneous electrical nerve stimulation. *Bulletin of Health Sciences Kobe* 21: 27-35, 2005 \*◎★

## A-b

1. Nakano J, Yoshimura T, Okita M, Motomura M, Kamei S, Matsuo H, Eguchi K: Laminin-induced autoimmune myositis in rats. *J Neurol Sci* 238(Suppl 1): S166, 2005
2. Yoshimura T, Motomura M, Shiraishi H, Nakano J, Tsujino A, Shirabe S, Eguchi K, Tsujihata M: Muscle pathological changes in MuSK antibody-positive myasthenia Gravis. *J Neurol Sci* 238(Suppl 1): S177, 2005
3. Senjyu H, Sukisaki T, Oishi K: The effectiveness of procaterol on exercise capacity in COPD patients. *Eur Respir J* 26(Suppl): 182s, 2005
4. Tabusadani M, Koza R, Senjyu H, Sueta H, Kida K: An epidemiological study of chronic obstructive pulmonary disease (COPD) in a rural town of Japan. *Eur Respir J* 26(Suppl): 593s, 2005

## A-d

1. Sonoda K: Two situations where *Had Better* can be used. *Bulletin of Nagasaki University School of Health Sciences* 18(1): 1-4, 2005

## B 邦 文

### B-a

1. 岩永 希, 川上 純, 田中史子, 玉井慎美, 和泉泰衛, 有馬和彦, 荒武弘一朗, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 江口勝美, 折口智樹, 浦山 哲, 河部庸次郎, 坪井雅彦, 松岡直樹, 古山雅子, 塚田敏昭, 高島宏行, 島田弘法, 植木幸孝, 峰 雅宣, 福田孝昭: 関節リウマチに対するinfiximabの治療効果. 九州リウマチ 24(2): 144-151, 2005
2. 玉井慎美, 川上 純, 岩永 希, 和泉泰衛, 田中史子, 黄 明国, 蒲池 誠, 荒武弘一朗, 有馬和彦, 中村英樹, 井田弘明, 江口勝美, 折口智樹, 迎 寛, 河野 茂, 森川 実: MRIが診断に有用であった側頭動脈炎の2症例. 九州リウマチ 24(2): 183-188, 2005
3. 山口東平, 荒武弘一朗, 川上 純, 河野史枝, 岩永 希, 和泉泰衛, 黄 明国, 田中史子, 蒲池 誠, 玉井慎美, 有馬和彦, 中村英樹, 井田弘明, 江口勝美, 折口智樹: 当科にて経験したリウマチ熱の一例. 九州リウマチ 24(2): 189-194, 2005
4. 玉井慎美, 川上 純, 岩永 希, 和泉泰衛, 田中史子, 黄 明国, 蒲池 誠, 荒武弘一朗, 有馬和彦, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 高崎由美, 塚崎邦弘, 朝長万左男, 林 徳眞吉, 江口勝美: 全身性エリテマトーデスに非ホジキンリンパ腫を合併した一症例. 九州リウマチ25(1): 43-48, 2005
5. 蒲池 誠, 井田弘明, 川上 純, 折口智樹, 新垣盛仁, 江口勝美: Spontaneous perirenal hematoma (SPH)を来したクリオグロブリン血症の一症例. 九州リウマチ 25(1): 73-79, 2005
6. 沖田 実, 中野治郎, 吉田大輔, 荒木景子, 坂本淳哉, 日比野 至: 他動的伸張運動(CPM)による拘縮の予防効果—ラットヒラメ筋の筋内膜コラーゲン線維網の形態変化から—. 日本物理療法学会誌 12: 61-66, 2005 ★
7. 吉村俊朗, 中野治郎, 沖田 実, 菊池康樹, 木村 喬, 石川武彦: カネミ油症患者における血球数と血液生化学の変化. 福岡医学雑誌 96(5): 192-203, 2005

### B-b

1. 加藤克知: 半月大腿靭帯—解剖学的特徴と解剖学教科書等の記述にみられる問題点—. 解剖学雑誌 80(3): 73-78, 2005
2. 千住秀明, 平山ふみ: 呼吸器疾患患者の体力測定とその測定法. 理学療法22(1): 226-232, 2005
3. 鋤崎利貴, 神津 玲, 大石和徳, 根地島誠, 儀間祐貴, 河北実保子, 栗田健介, 宮本直美, 江崎めぐみ, 岩永桃子, 力富 直人, 千住秀明: 無作為コントロール試験による塩酸プロカテロールの単体投与がCOPD患者の運動能力に及ぼす影響. 理学療法学 32(Suppl 2): 292, 2005
4. 江崎めぐみ, 栗田健介, 宮本直美, 岩永桃子, 力富直人, 大池貴行, 千住秀明. 慢性呼吸器疾患患者における主観的歩行能力評価とシャトルウォーキングテスト. 理学療法学 32(Suppl 2): 288, 2005
5. 植木 純, 千住秀明: 呼吸リハビリテーションマニュアル—患者教育, 栄養指導—の作成をめぐって. 日本呼吸管理学会誌 14(3): 381, 2005
6. 大池貴行, 江里口杏平, 山野上志織, 北島昌輝, 森 康貴, 清水博子, 津田 徹, 千住秀明: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群と運動習慣・運動耐用能との関係. 日本呼吸管理学会誌 15(1): 120, 2005
7. 田中貴子, 中ノ瀬八重, 田中健一郎, 真崎宏則, 北川知佳, 千住秀明: 当院における呼吸理学療法の実証状況について. 日本呼吸管理学会誌 15(1): 221, 2005
8. 田中健一郎, 田中貴子, 中ノ瀬八重, 北川知佳, 江里口杏平, 千住秀明: 健常者における呼吸リハビリテーションに関する知識状況. 日本呼吸管理学会誌 15(1): 116, 2005
9. 朝井政治, 俵 祐一, 佐々木綾子, 岡田芳郎, 神津 玲, 中野 豊, 中村美加栄, 柳瀬 賢, 千住秀明: 急性期病院における呼吸理学療法の実証状況. 理学療法学 32(Suppl 2): 306, 2005
10. 田所杏平, 北川知佳, 田中貴子, 中ノ瀬八重, 松本友子, 三川浩太郎, 田中健一郎, 住本恭子, 宮寺淳子, 千住秀明: 呼吸リハビリテーションにおける患者教育についての評価表の検討. 理学療法学 32(Suppl 2): 291, 2005
11. 千住秀明: 行動変容による息切れ管理. 日本呼吸管理学会誌 15: 84, 2005
12. 濱出茂治, 染矢富士子: 頸肩腕症候群のリハビリテーション, 経皮的末梢電気刺激法を中心に. Monthly Book Medical Rehabilitation 55: 65-70, 2005
13. 折口智樹, 江口勝美: 接着分子. 日本臨床 63(増刊): 200-207, 2005
14. 江口勝美, 折口智樹: 多発性筋炎・皮膚筋炎. 毎日ライフ 36(4): 32-37, 2005
15. 折口智樹, 蒲池 誠, 江口勝美: SLEの病態. 日本臨床増刊号 臨床免疫学(下)63(5): 247-252, 2005
16. 折口智樹, 江口勝美: 関節リウマチの診断検査の新知見. BIO Clinica 関節リウマチの成因と治療 20(9): 781-787, 2005
17. 江口勝美, 折口智樹: 関節リウマチの早期診断: 定義, 診断基準, 課題. リウマチ科 34(3): 237-243, 2005
18. 沖田 実, 中野治郎: 【基礎理学療法学研究方法論】2. 動物を対象とした基礎理学療法学研究方法論. PTジャーナル 39(11): 1001-1008, 2005
19. 中野治郎, 沖田 実, 坂本淳哉, 吉村俊朗: 筋炎モデルラットに対する経皮的電気刺激の影響. 理学療法学 32(Suppl

- 2): 18, 2005 ★
20. 坂本淳哉, 吉川紗智, 渡部由香, 吉田大輔, 片岡英樹, 豊田紀香, 中野治郎, 沖田 実: 不動化されたラット距腿関節軟骨に対する持続的伸張運動の影響. 理学療法学 32(Suppl 2): 363, 2005 ★
  21. 吉田大輔, 沖田 実, 坂本淳哉, 中野治郎, 加藤克知: 不動化したラット膝関節の関節包コラーゲン線維に対する持続的運動の影響. 理学療法学 32(Suppl 2): 251, 2005 ★
  22. 荒木景子, 中野治郎, 沖田 実, 岡本眞須美, 中塚祥太, 山崎摩耶: 超音波の照射率の違いがラット下腿三頭筋の廃用性筋萎縮の進行抑制効果におよぼす影響. 理学療法学 32(Suppl 2): 236, 2005 ★
  23. 渡部由香, 吉川紗智, 片岡英樹, 豊田紀香, 吉川和代, 中野治郎, 沖田 実: 熱刺激の負荷方法の違いがラットヒラメ筋の廃用性筋萎縮の進行抑制効果におよぼす影響. 理学療法学 32(Suppl 2): 236, 2005 ★
  24. 片岡英樹, 豊田紀香, 吉川和代, 沖田 実, 中野治郎, 吉川紗智, 渡部由香: 熱刺激によるラット骨格筋の廃用性筋萎縮の進行抑制効果—異なる期間での検討. 理学療法学 32(Suppl 2): 237, 2005 ★
  25. 吉川紗智, 渡部由香, 片岡英樹, 豊田紀香, 中居和代, 中野治郎, 沖田 実: 熱刺激の負荷方法の違いがラットヒラメ筋の廃用性筋萎縮の進行抑制効果におよぼす影響. 理学療法の医学的基礎 9(1): 19, 2005 ★
  26. 沖田 実, 井上貴行, 日比野至, 中野治郎, 鈴木重行: 拘縮に対する間欠的伸張運動の効果—骨格筋内コラーゲンの可溶性変化に着目して—. 理学療法学 32(Suppl 2): 221, 2005 ★
  27. 中野治郎: 【基礎理学療法学分科会】骨格筋の構造と機能, ならびに筋線維肥大メカニズム. 理学療法学 32(Suppl 1): 100, 2005
  28. 松坂誠應, 井口 茂, 林 拓男: 在宅虚弱～要介護高齢者に対する転倒予防プログラムの検討(第3報)転倒ハイリスク者に対するアプローチ. リハビリテーション医学 42(Suppl): S383, 2005
  29. 松坂誠應, 井口 茂: 在宅虚弱～要介護高齢者に対する転倒予防プログラムの検討(第3報)マシントレーニングの効果. リハビリテーション医学 42(Suppl): S383, 2005
  30. 松下美奈子, 田原弘幸, 鶴崎俊哉: 発達障害児をもつ母親の育児支援について. 理学療法学 32(Suppl 2): 122, 2005
  31. 浜本寿治, 鶴崎俊哉, 永瀬慎介, 平田恭子: 離散wavelet変換を用いた表面筋電図解析パラメータの提案. 理学療法学 32(Suppl 2): 220, 2005
  32. 永瀬慎介, 鶴崎俊哉, 平田恭子, 浜本寿治: 漸増負荷の増加割合の違いによる表面筋電図周波数の相違について. 理学療法の医学的基礎 9(1): 24, 2005
  33. 鶴崎俊哉, 永瀬慎介, 平田恭子, 浜本寿治: 表面筋電極の位置の違いによる筋電周波数への影響について. 理学療法の医学的基礎 9(1): 25, 2005
  34. 浜本寿治, 鶴崎俊哉, 永瀬慎介, 平田恭子: 離散Wavelet変換を用いた表面筋電図解析パラメータの提案. 理学療法の医学的基礎 9(1): 26, 2005
  35. 平田恭子, 鶴崎俊哉, 永瀬慎介, 浜本寿治: 等角速度運動の速度の違いが表面筋電図時間 周波数分析におよぼす影響について. 理学療法の医学的基礎 9(1): 27, 2005
  36. 井口 茂, 小泉徹見, 松尾志織, 陣野紀代美, 道辻美佐子, 松坂誠應: 長崎市における「転倒骨折予防教室」の実施状況と効果に関する検討—2年間の実施経過より—. 理学療法学 32(Suppl 2): 96, 2005
  37. 平瀬達也, 井口 茂, 飯野朋彦, 木村勝志, 塩塚 順: Functional Reach Test時の重心動揺と下肢筋力との関連性について—在宅高齢者と通所高齢者での比較—. 理学療法学 32(Suppl 2): 506, 2005
  38. 日野 真, 財津菜穂子, 松尾志織, 秦 直美, 井口 茂: 転倒予防教室における体操プログラム立案の検討. 理学療法学 32(2): 384, 2005

## B-c

1. 折口智樹, 江口勝美: 数年来の喘息患者が急に手足の感覚障害と筋力低下を訴えた!?(山本一彦(編): シミュレーション内科リウマチ・アレルギー疾患を探る, 永井書店, 東京, pp. 148-153 所収)2005
2. 折口智樹, 江口勝美: 抗リウマチ薬. (宮崎信之, 小池隆夫, 住田孝之, 山本一彦, 羅 智靖, 渡辺 守, 石井裕正(編): わかりやすい免疫疾患, 日本医師会, 東京, 134(特別号1)pp. 130-133 所収)2005
3. 折口智樹, 江口勝美: ベーチェット病. (富野康日己(編): 内科疾患診療マニュアル, 中外医学社, 東京, pp. 757-760 所収)2005
4. 折口智樹, 江口勝美: シェーグレン症候群. (富野康日己(編): 内科疾患診療マニュアル, 中外医学社, 東京, pp. 761-763 所収)2005
5. 江口勝美, 折口智樹: 抗リウマチ薬はどのように選択すればよいのか? (川合眞一, 山本一彦, 田中良哉(編): 抗リウマチ薬 Q&A, 日本医学出版, 東京, pp. 140-144 所収)2005
6. 江口勝美, 折口智樹: DMARDs、免疫抑制薬の位置づけと使い方(ガイドライン紹介を含む). (川合眞一, 山本一彦, 田中良哉(編): 抗リウマチ薬 Q&A, 日本医学出版, 東京, pp. 145-149 所収)2005
7. 千住秀明: 呼吸・循環・代謝機能検査. (中島喜代彦, 千住秀明(編): 理学療法評価法 改訂第2版, 神陵文庫, 神戸, pp. 211-228 所収)2005
8. 千住秀明: 呼吸理学療法—慢性期. (細田多穂, 中山彰一(編): アドバンス版図解理学療法技術ガイド, 文光堂, 東京, pp. 581-588 所収)2005

9. 千住秀明, 髻谷 満: 運動療法の基本的な考え方. (永井厚志(編)): 呼吸ケア実践ハンドブック・管理とリハビリテーションのすべて, 南江堂, 東京, pp. 188-192 所収) 2005
10. 関川清一, 千住秀明: 運動療法の実際. (永井厚志(編)): 呼吸ケア実践ハンドブック・管理とリハビリテーションのすべて, 南江堂, 東京, pp. 199-209 所収) 2005
11. 崎村芳子, 大石典史, 川口敬吾, 高柳公司, 井川吉徳, 江口真由美, 白川千草, 秋葉浩樹, 谷川敦弘, 井口 茂, 松坂誠應: 長崎県における地域リハ支援体制を活用した介護予防・筋力トレーニング事業の普及啓発. リハビリテーション・ケア合同研究大会抄録誌 p. 157, 2005
12. 井川吉徳, 大石典史, 川口敬吾, 高柳公司, 松坂誠應, 濱中博之, 井口 茂, 大木田治夫, 小無田彰仁: 転倒予防教室を中心とした地域リハ広域支援センターの取り組み〜長崎県内各地域リハ広域支援センターの活動から〜. リハビリテーション・ケア合同研究大会抄録誌 p. 157, 2005
13. 井口 茂, 吉峯悦子, 松田信子, 宮川典章, 川副巧成, 當麻俊久, 松尾志織, 陣野紀代美, 松坂誠應: 長崎市における高齢者筋力向上トレーニング事業の取り組みについて. リハビリテーション・ケア合同研究大会抄録誌 p. 313, 2005
14. 田原聖子, 井口 茂, 小泉徹児: 長崎市中央部エリアにおける転倒骨折予防教室3年間の報告. リハビリテーション・ケア合同研究大会抄録誌 p. 314, 2005
15. 井口 茂, 吉峯悦子, 陣野紀代美, 氷室弥千代, 川崎マサ子, 松田信子, 大木田治夫, 山下潤一郎, 小無田彰仁, 松坂誠應: 長崎市における介護予防事業の取り組み. リハビリテーション・ケア合同研究大会抄録誌 p. 314, 2005
16. 有福浩二, 足利雅浩, 池田章子, 篠原晶子, 鹿谷洋志, 矢部嘉浩, 井口 茂: 当院における腰痛クリニックの経過報告(第2報). 第27回九州理学療法士・作業療法士合同学会誌 p. 101, 2005

#### B-d

1. 日野 真, 與座嘉康, 千住秀明: 慢性閉塞性肺疾患患者に対する入院呼吸リハビリテーションの効果. 長崎大学医学部保健学科紀要18: 33-38, 2005
2. 吉村俊朗, 中野治郎: カネミ油症検診者の末梢神経, 筋の変化および糖尿病の合併について. 厚生労働科学研究費補助金(食品の安心・安全確保推進究事業)熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究(主任研究者: 古江増隆)平成17年度総括・分担研究報告書, pp. 58-62, 2005
3. 松坂誠應, 井口 茂, 石松隆和: 在宅虚弱高齢者に対するマシントレーニングの効果. 虚弱高齢者等筋力トレーニングモデル事業報告書(長崎県), pp. 1-50, 2005
4. 浜村明德, 米満弘之, 藤田久夫, 橋本 務, 柳 尚夫, 千住秀明, 岡持利亘, 島田裕之, 林 拓男, 松坂誠應: 地域におけるリハビリテーションの実態とリハビリテーション手法・評価方法及び提供体制に関する検討報告書. (財)日本公衆衛生協会, 2005
5. 松坂誠應, 井口 茂, 山本和儀, 北谷正浩, 降旗清人, 小野寺哲子, 坂本啓二: 寝たきり予防推進のための高齢者運動療法. 栄養療法に関するプログラム策定並びにその普及実施事業報告書, 平成16年度厚生労働省老人保健健康増進等事業(社団法人全国国民健康保険診療施設協議会), 2005
6. 加藤克知: アンデス先住民頭蓋における非計測的小変異, アンデス先住民における頭蓋穿孔術創部の諸相, An artificially deformed child skull with sagittal craniosynostosis from an archaeological site in Peru, 頭蓋骨折をとまなうペルー先住民の頭蓋穿孔について. 先インカ〜インカ帝国形成期におけるアンデス先住民の人類学的研究, 平成13年度〜平成16年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(1))研究成果報告書, 2005
7. 井口 茂: 介護予防のための運動療法プログラム. 介護予防を目的とした高齢者の運動機能に効果を及ぼす運動習慣普及促進事業報告書, 平成16年度厚生労働省老人保健健康増進等事業(社団法人全国国民健康保険診療施設協議会), pp. 135-157, 2005

## 原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2005	10	4	0	1	15	10	7	38	16	7	68	83

## 学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2005	0	0	5	5	1	2	41	44	49

## 原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
	論文総数		欧文論文総数	
2005	0.181	1.5	0.667	1

## Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2005	26.921	2.692	2.692